

所有者・管理団体（文化財の所有者・管理団体となっている県・市町村を含む）

文化財防災チェックリスト(建造物、有形民俗文化財の建造物)

大項目	項目	はい	いいえ	備考
1 所在地に起因するリスクの把握	所在地は土砂災害警戒区域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハザードマップで所在地の状況を確認して下さい。土砂災害と洪水による被害想定域は、県の統合型GIS「マッピングぐんま」(*1)で全県下の情報を見ることができます。火山災害は、浅間山・草津白根山・日光白根山についてハザードマップが作成されています。
	所在地は洪水浸水被害想定区域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	所在地は火山災害の被害想定地域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	近隣火災からの延焼の可能性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	周辺の建物や樹木の状況から、延焼の危険性を確認してください。
	消防用進入路や消防水利は確保されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	消防機関等の関係者に確認し、確保できていない場合は対応策を検討して下さい。
	周囲の建物・樹木の倒壊等による被害の危険性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補強や撤去、伐採等、リスクを少なくする方策を検討して下さい。
2 適切な維持・管理	以下の項目について日常点検を行っている			適切な日常点検を行い、災害リスクを早期に把握して改善することによって、被害の防止や軽減につながります。 特に火災の発生は大きな被害をもたらしますので、火気管理の徹底と、漏電火災や放火の防止等について確認項目を定めた点検表を策定し、それに基づいて十分な点検を実施して下さい。 点検で確認された不具合については、放置することなく早急に改善を行って下さい。
	破損・劣化の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	たばこ・たき火・灯明等の火気管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	漏電・失火等の危険性の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	可燃物の整理・管理の徹底	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	不審火・放火の危険性の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
破損・劣化箇所は修繕がすすんでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	破損・劣化箇所の放置が大きな被害につながります。早期に修繕してください	
3 災害対策	耐震性能は基準を満たしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	耐震診断を実施の上、耐震対策を実施してください
	管理者が常駐している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管理者不在の場合、機械警備の導入等、早期に異常を把握する体制を検討してください。
	以下の防火設備を設置している			。国宝・重要文化財については、消防法により用途や規模に応じた防火設備の設置が義務づけられています。国のガイドライン(*2)が示されているのでそちらを参考にしてください。そのほかの建造物についても、上記ガイドラインを参考に、適切な防火設備を設置してください。
	自動火災報知設備がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	屋内消火設備がある (消火器・消火栓・スプリンクラー等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	屋外消火設備がある (放水銃・消火栓・ドレンチャー等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	以下の防犯対策を行っている			監視の死角や盲点となりやすい場所を確認し、防犯機器の設置や巡視等を行って下さい。入口の看板等で防犯対策を行っていることを周知することも有効です。写真等で最新の状況を記録しておく、被害の速やかな特定につながります。
	防犯性の高い鍵を使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	防犯設備を設置している (防犯灯・センサー・カメラ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	定期的に巡視している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	定期的に防災訓練を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	訓練の際に、防災設備の動作確認や点検を行います。故障や機能低下が認められたら直ちに修繕して下さい。
	定期的に防災設備点検や動作確認を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域の自主防災組織や住民とは防災上の課題を共有し、災害時の協力体制の構築を目指します。
自主防災組織や近隣住民と災害時の対応について協議している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	また、避難導線や役割分担等の防災計画を定め定期的に訓練を行うことで、非常時に慌てずに行動できます。	
災害時のタイムラインを作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
応急措置用資材を準備している (シート・土嚢袋・ロープ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	被害の拡大や二次的な損傷を防ぐため、常備しておきましょう。	
4 緊急時連絡体制	災害時の連絡先を明示している (消防・警察・文化財部局)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非常時に直ちに連絡できるよう、電話番号・メールアドレス等を登録して下さい。
5 調査記録の保存	被災に備えた調査記録を保存している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細な調査記録があれば、被災後の修復・復原に役立てることができます。

*1 マッピングぐんま(www2.wagmap.jp/pref-gunma/Portal)

*2 「国宝・重要文化財(建造物)の防火対策ガイドライン」文化庁

1で「いいえ」があった場合 → 災害リスクが大きいかを前提とした災害対策が必要です。

特に、万一の被災に備え、調査記録は必ず作成して下さい。

所有者・管理団体（文化財の所有者・管理団体となっている県・市町村を含む）

文化財防災チェックリスト(美術工芸品、建造物以外の有形民俗文化財)

	項目	はい	いいえ	備考		
1	所在地に起因するリスクの把握	所在地は土砂災害警戒区域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハザードマップで所在地の状況を確認して下さい。土砂災害と洪水による被害想定域は、県の統合型GIS「マッピングぐんま」(*1)で全県下の情報を見ることができます。火山災害は、浅間山・草津白根山・日光白根山についてハザードマップが作成されています。	
		所在地は洪水浸水被害想定区域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		所在地は火山災害の被害想定地域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		近隣火災からの延焼の可能性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		周辺の建物や樹木の状況から、延焼の危険性を確認してください。
		消防用進入路や消防水利は確保されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		消防機関等の関係者に確認し、確保できていない場合は対応策を検討して下さい。
		周囲の建物・樹木の倒壊等による被害の危険性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		補強や撤去、伐採等、リスクを少なくする方策を検討して下さい。
2	適切な維持・管理	以下の項目について日常点検を行っている			日常点検により破損や劣化を早期に把握したり、落下や転倒の危険性を減らすことで、災害による大きな破損を免れることができます。万が一の盗難被害も速やかに把握できます。博物館等の展示・収蔵施設については、文化庁が作成した手引き(「文化財(美術工芸品等)の防災に関する手引き」文化庁)を参照して下さい。	
		破損・劣化の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		落下・転倒の危険性の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		盗難の危険性の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		失火・不審火等の危険性の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
破損・劣化箇所は修繕がすすんでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	破損・劣化箇所の放置が大きな被害につながります。早期に修繕してください			
3	災害対策	水害・地震リスクの低減対策を考慮した展示・収蔵方法となっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	災害による被害をできるだけ小さくする展示・収蔵方法を検討してください。	
		所在場所に管理者が常駐している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管理者不在の場合、機械警備の導入等、早期に異常を把握する体制を検討してください。	
		展示・収蔵施設の防火設備 自動火災報知設備がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等については、消防法により用途や規模に応じた防火設備の設置が義務づけられています。国のガイドライン(*2)が示されているのでそちらを参考にしてください。そのほかの施設についても、上記ガイドラインを参考に、適切な防火設備を設置してください。	
		屋内消火設備がある (消火器・消火栓・スプリンクラー等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		屋外消火設備がある (放水銃・消火栓・ドレンチャー等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		以下の防犯対策を行っている 防犯性の高い鍵を使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	監視の死角や盲点となりやすい場所を確認し、防犯機器の設置や巡視等を行って下さい。入口の看板等で防犯対策を行っていることを周知することも有効です。展示・公開している施設では、監視員の配置やセンサーの設置等の対策とともに閉館後の点検も必要です。防犯設備は定期的に点検し、故障・不具合がないか確認して下さい。	
		防犯設備を設置している (防犯灯・センサー・カメラ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		定期的に巡視している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		定期的に防災訓練を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	訓練の際に、防災設備の動作確認や点検を行います。故障や機能低下が認められたら直ちに修繕して下さい。	
		定期的な防災設備点検や動作確認を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域の自主防災組織や住民とは防災上の課題を共有し、災害時の協働体制の構築を目指します。	
		自主防災組織や近隣住民と災害時の対応について協議している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	また、避難導線や役割分担等の防災計画を定め定期的に訓練を行うことで、非常時に慌てずに行動できます。	
		災害時のタイムラインを作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
応急措置用資材を準備している (梱包材等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	被災文化財を速やかに保全・救出するために、梱包材や洗浄用具等を準備しましょう。			
4	緊急時連絡体制	災害時の連絡先を明示している (消防・警察・文化財部局)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非常時に直ちに連絡できるよう、電話番号・メールアドレス等を登録して下さい。	
5	調査記録の保存	調査記録や管理台帳を保存している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	写真付きの調査記録や台帳は、被災後の修復・復原や盗難時の届出に役立ちます。	

*1 マッピングぐんま(www2.wagmap.jp/pref-gunma/Portal)

*2 「国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」文化庁

1で「いいえ」があった場合 → 災害リスクが大きいことを前提とした災害対策が必要です。特に、万一の被災に備え、調査記録や台帳は必ず作成し、安全な場所に保管してください。安全な地域にある博物館・資料館等への寄託も検討してください。

所有者・管理団体（文化財の所有者・管理団体となっている県・市町村を含む）

文化財防災チェックリスト(史跡・名勝)

	項目	はい	いいえ	備考		
1	所在地に起因するリスクの把握	所在地は土砂災害警戒区域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハザードマップで所在地の状況を確認して下さい。土砂災害と洪水による被害想定域は、県の統合型GIS「マッピングぐんま」(*1)で全県下の情報を見ることができます。火山災害は、浅間山・草津白根山・日光白根山についてハザードマップが作成されています。	
		所在地は洪水浸水被害想定区域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		所在地は火山災害の被害想定地域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		近隣火災からの延焼の可能性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		周辺の建物や樹木の状況から、延焼の危険性を確認してください。
		消防用進入路や消防水利は確保されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		消防機関等の関係者に確認し、確保できていない場合は対応策を検討して下さい。
		周囲の建物・樹木の倒壊等による被害の危険性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		補強や撤去、伐採等、リスクを少なくする方策を検討して下さい。
2	適切な維持・管理	以下の項目について定期的に点検している			定期的な点検により早期に異常箇所を把握して対策を実施することで、災害による大きな損害を免れることができます。	
		雨水による土砂の流出や亀裂・地割れの発生の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		復元建造物等の破損・劣化の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		倒木・落枝の危険性有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		失火・放火の危険性有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		異常箇所は対策がすすんでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		異常箇所の放置が大きな被害につながります。早期に対策を実施してください
3	災害対策 (復元建造物がある場合)	復元建造物は耐震性能基準を満たしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	耐震診断を実施の上、耐震対策を実施してください	
		管理者が常駐している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管理者不在の場合、機械警備の導入等、早期に異常を把握する体制を検討してください。	
		以下の防火設備を設置している			消防法により用途や規模に応じた防火設備の設置が義務づけられています。国宝・重要文化財については国のガイドライン(*2)が示されているのでそちらを参考にしてください。そのほかの建造物についても、上記ガイドラインを参考に、適切な防火設備を設置してください。	
		自動火災報知設備がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		屋内消火設備がある (消火器・消火栓・スプリンクラー等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		屋外消火設備がある (放水銃・消火栓・ドレンチャー等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		以下の防犯対策を行っている			監視の死角や盲点となりやすい場所を確認し、防犯機器の設置や巡視等を行って下さい。入口の看板等で防犯対策を行っていることを周知することも有効です。写真等で最新の状況を記録しておく、被害の速やかな特定につながります。	
		防犯性の高い鍵を使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		防犯設備を設置している (防犯灯・センサー・カメラ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		定期的に巡視している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		定期的に防災訓練を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	訓練の際に、防災設備の動作確認や点検を行います。故障や機能低下が認められたら直ちに修繕して下さい。地域の自主防災組織や住民とは防災上の課題を共有し、災害時に協力が得られるようにしておきます。また、避難導線や役割分担等の防災計画を定め定期的に訓練を行うことで、非常時に慌てずに行動できます。	
		定期的に防災設備点検や動作確認を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		自主防災組織や近隣住民と災害時の対応について協議している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
災害時のタイムラインを作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
応急措置用資材を準備している (シート・土嚢袋・ロープ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	被害の拡大や二次的な損傷を防ぐため、常備しておきましょう。			
4	緊急時連絡体制 (災害時の連絡先を明示している (消防・警察・文化財部局)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非常時に直ちに連絡できるよう、電話番号・メールアドレス等を登録して下さい。		
5	調査記録の保存 調査記録を作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細な調査記録があれば、被災後の修復・復原に役立てることができます。		

*1 マッピングぐんま(www2.wagmap.jp/pref-gunma/Portal)

*2 「史跡等における歴史的建造物の復元に関する基準」 文化審議会文化財分科会

*3 「国宝・重要文化財(建造物)の防火対策ガイドライン」 文化庁

1に「いいえ」があった場合 → 災害リスクが大きいことを前提とした災害対策が必要です。特に、万一の被災に備え、調査記録は必ず作成してください。

所有者・管理団体（文化財の所有者・管理団体となっている県・市町村を含む）

文化財防災チェックリスト(天然記念物)

	項目	はい	いいえ	備考	
1	所在地に起因するリスクの把握	所在地は土砂災害警戒区域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハザードマップで所在地の状況を確認して下さい。土砂災害と洪水による被害想定域は、県の統合型GIS「マッピングぐんま」(*1)で全県下の情報を見ることができます。火山災害は、浅間山・草津白根山・日光白根山についてハザードマップが作成されています。生物・植物生育地の被害が予想される場合、復元に備え安全な場所でのストックも検討して下さい。 周辺の建物や樹木の状況から、延焼の危険性を確認してください。 消防機関等の関係者に確認し、確保できていない場合は対応策を検討して下さい。 倒木等による被害想定範囲を把握し、支柱の設置や枯枝の撤去等の対策を検討して下さい。 周囲の建物・樹木の倒壊等による被害の危険性は低い
		所在地は洪水浸水被害想定区域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		所在地は火山災害の被害想定地域ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		近隣火災からの延焼の可能性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		消防用進入路や消防水利は確保されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		倒木や落枝により周囲の建物等に被害が及ぶ危険性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		周囲の建物・樹木の倒壊等による被害の危険性は低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	適切な維持・管理	以下の項目について定期的に点検している 樹木の枝枯れ・折れ、腐朽や虫害の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	定期的な点検により早期に異常箇所を把握して対策を実施することで、災害による大きな損害を免れることができます。巨樹・古木等は、樹木医による定期的な診断も実施して下さい。 故意による加害行為や盗難等も、迅速に対応することでその後の被害を防止できます。必要に応じて警察への届出や、点検回数の増加等を行って下さい。 異常箇所は対策がすすんでいる
		雨水による土砂の流出や亀裂・地割れの発生の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		急激な環境変化の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		故意による破損や盗難の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		異常箇所は対策がすすんでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	防災・防犯対策	以下の防災・防犯対策を行っている			盗難や故意による加害行為を防止するため、立入禁止区域への柵の設置、看板等による禁止行為の明示、定期的な巡視等を行って下さい。 また、倒木等の危険性がある場合は早急に対策を取るとともに、被害が予想される範囲を周知し、避難の方法等を検討して下さい。 倒木等による影響範囲を把握し、避難が必要な範囲や避難導線を確認してください。 被害の拡大や二次的な損傷を防ぐため、準備しておきましょう。
		柵や看板等を設置し、立入禁止区域や禁止行為を明示している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		倒木を防止するため、支柱等を設置している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		防犯設備を設置している (防犯灯・センサー・カメラ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		定期的な巡視している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		災害時のタイムラインを作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		応急措置用資材を準備している (シート・土嚢袋・ロープ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	緊急時連絡体制	災害時の連絡先を明示している (消防・警察・文化財部局)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非常時に直ちに連絡できるよう、電話番号・メールアドレス等を登録して下さい。
5	調査記録の保存	調査記録を作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹木等は倒木や大きな落枝についても調査記録を作成して下さい。

*1 マッピングぐんま(www2.wagmap.jp/pref-gunma/Portal)

1に「いいえ」があった場合 → 災害リスクが大きいことを前提とした災害対策が必要です。特に、万一の被災に備え、調査記録は必ず作成してください。

市町村

文化財防災チェックリスト

	大項目	項目	はい	いいえ	備考
1	地域の文化財リストの作成とリスクの把握	以下の項目についてリストを作成している			<p>悉皆的な調査を基に文化財リストを作成。リストには、所在地や所有者の連絡先等、災害時に必要となる情報も網羅しておく。</p> <p>調査は既存の調査成果を基に、必要に応じて新たな調査も実施する。全ての文化財類型が対象となるため、多様な関係者の協力が必要となる。また、未指定文化財については、地域の実情や歴史に詳しい郷土史家や民間団体等からの情報収集も行う。</p> <p>ハザードマップで所在地の状況を確認するほか、所有者・管理団体用のチェックリストを集約し、地域内のリスクについて把握しておく。文化財リストとともに、県に報告する。</p>
		国・県指定・選定等文化財	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		市町村指定・選定等文化財	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		未指定文化財	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		文化財調査に協力を得られる地域の専門家、民間団体等がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		各種の災害想定地域内に所在する文化財を把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	所有者等の災害対策の支援	被災リスクの高い文化財を把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		以下の対策が必要な文化財がある			<p>所有者・管理団体が行う災害対策に対し、専門的な指導・助言を行う。</p> <p>所有者・管理団体用チェックシートによって対策が必要な文化財を把握し、県とも情報を共有しておく。所有者・管理団体と協議しながら、危険度の高さ等を考慮して計画的に事業を進める。</p> <p>事業の実施にあたっては、国・県・市町村等の補助制度を利用できるように、所有者等に情報提供を行うとともに、国・県との調整や補助金の事務手続等の支援を行う。</p>
		耐震診断及び耐震対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		防火設備の整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		防犯設備の整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
破損・劣化箇所の修繕	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
所有者等の防災事業を計画的に実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
3	災害対策	災害時に文化財の所有者・管理団体と連絡を取ることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>確実に連絡がとれるよう、複数の連絡方法を把握しておくことが望ましい。</p> <p>夜間や休日の連絡先についても把握しておく。</p>
		県文化財保護課への連絡先を把握している(電話・FAX・メール)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		災害時に以下の関係者との連携がとれる			<p>災害時の情報収集や緊急の保全措置等に協力できる関係者を確保しておく。災害時の役割分担を防災計画に明記し、関係者に周知しておくことで、円滑な連携がとれるよう努める。</p>
		市町村の関係機関(防災、消防、博物館・資料館、図書館等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		地域の住民や文化財に関わる専門家・民間団体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		災害の種類・規模に応じたタイムラインを作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		被災文化財の仮置きや保全作業用のスペース、応急措置用資材等を確保している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仮置場や資材等は、被災の危険性がない場所に確保する。
		以下を対象とした普及啓発を行っている			<p>所有者・管理団体に対し定期的にチェックシートの活用を促し、防災対策の必要性を周知する。また、講演会や防災訓練、悉皆調査等を通じて、文化財防災の重要性について地域住民等に周知し、協力を求める。</p>
所有者・管理団体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
地域住民、地域の文化財に関わる民間団体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
4	調査記録の作成と保存	管内文化財の調査記録を保存している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管内文化財の調査記録を集約し、保存しておく。

県

文化財防災チェックリスト

	大項目	項目	はい	いいえ	備考
1	地域の文化財リストの集約とリスクの把握	以下の項目についてリストを集約している			市町村が作成したリストを集約。所在地や所有者の連絡先等、災害時に必要となる情報を市町村と共有しておく。 市町村の調査に対しては、既存の調査成果の提供や新たな調査への指導・助言、調査に協力を得られる専門家や民間団体の紹介、活用できる国庫補助事業の情報提供等の支援を行う。
		国・県指定・選定等文化財	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		市町村指定・選定等文化財	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		未指定文化財	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		文化財の保存・活用に協力を得られる専門家、民間団体等を把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		各種の災害想定地域内に所在する文化財を把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		被災リスクの高い文化財を把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市町村報告を受けたリストを集約し、県内の文化財リスクを把握しておく。
2	所有者等の災害対策の支援	以下の対策が必要な文化財がある			所有者・管理団体が行う災害対策に対し、専門的な指導・助言を行う。 対策が必要な文化財の情報を市町村と共有し、危険度の高さ等を考慮して計画的に事業が進められるよう支援する。 事業の実施にあたっては、国・県の補助制度を利用できるように、市町村・所有者等に情報提供を行うとともに、国との調整や補助金の事務手続等の支援を行う。
		耐震診断及び耐震対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		防火設備の整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		防犯設備の整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		破損・劣化箇所の修繕	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		所有者等の防災事業を計画的に実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	災害対策	災害時の連絡方法について、市町村に周知している(電話・FAX・メール)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	夜間や休日の連絡方法についても取り決めておく
		災害時に必要に応じて文化財の所有者・管理団体と連絡を取ることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市町村の対応が困難な場合に備え、連絡先の情報を市町村と共有しておく。
		災害時に以下の関係者との連携がとれる			災害時の情報収集や緊急の保全措置等に協力できる関係者を確保しておく。災害時の役割分担を防災計画に明記し、関係者に周知しておくことで、円滑な連携がとれるよう努める
		県の関係機関(防災、消防、博物館、文書館、図書館、埋文センター等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		文化財に関わる民間団体(リテ-ジ マネ-ジャ-協議会、資料ネット等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		文化庁、文化財防災センター、近隣都県	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		災害の種類・規模に応じた防災計画を作成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		災害に備えた市町村の準備状況(スペース・資材等)を把握している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	災害時に県内市町村間での協力体制がとれるよう、事前に準備状況を把握しておく。
		以下を対象とした普及啓発を行っている			行政説明会や研修、文化財防災に関するパンフレットの配布、県HPでの周知等により、災害対策の必要性を周知し、協力を求める。
		市町村	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
所有者・管理団体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
地域住民、地域の文化財に関わる民間団体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
4	調査記録の作成と保存	県内文化財の調査記録を保存している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	県内文化財の調査記録を集約し、保存しておく